

【資料2】

『新しい生活様式を踏まえた狛江市立公民館事業のあり方について(答申)』に盛り込むべき3つの重点事項について (案)

コロナ禍だけではなく、もっと先を見据えた公民館事業のあり方として、各委員から出された意見を基に、以下の3つの重点事項に絞り検討を深めていくのはどうか。

① 新たな事業の開拓

- ▼ インターネットを活用し、その場にいなくても学びや交流が図れる空間を創出
- ▼ これまで実施したことがない事業の企画・実践

<委員からいただいた意見(一部抜粋)>

- Wi-Fi環境を整える ●オンライン講座 ●オンライン懇親会、懇談会
- 動画配信できるようなスタジオを設ける ●予約や特別申請をLINEで
- 狛江の史跡・神社めぐり ●西河原公園で自由発想広場(パラソル)の設置

② 現役・将来世代への継承

- ▼ 公民館利用者のうち、60歳以上の高齢者が約7割を占めている。現役・将来世代をターゲットとした事業を企画・運営し、担い手の確保を図る。

<委員からいただいた意見(一部抜粋)>

- 学習フリースペース ●親子で楽しむビネオライブラリールーム
- サイエンス事業充実 ●テーマを設定し、各小・中学校の生徒に来てもらい討論会を開催
- 小さな博物館を作る

③ 未来に向けた取り組み

- ▼ 平成 27(2015)年9月の国連サミットにおいて採択された令和 12(2030)年までの国際目標 SDGsに関連した事業の展開(公民館事業評価にも記載欄あり)
- ▼ 公民館だけでなく、外部(民間事業者や各教育施設)との連携した事業の展開

<委員からいただいた意見(一部抜粋)>

- SDGsの理念に沿った事業の企画・実施
- 民間企業や学校と連携した事業を展開
- 外国人が主体となり、事業・交流を図る